

松阪市民病院における転倒転落について
インシデントレポートを用いた研究へのご協力のお願い

2024 年 11 月 8 日

研究責任者 リハビリテーション室 今岡泰憲

この度、当院にて医療従事者が認識する転倒転落の背景についてインシデントレポートを分析する研究を実施いたします。本研究により皆様に新たに生じるご負担が一切ありません。また扱う情報には個人情報含まれず、個人が特定されることはありません。本研究は、当院の倫理委員会において承認された研究計画書に基づき実施されます。本研究は、インシデントレポートを分析することで、入院中の転倒転落を防ぐために役立つものと考え実施されます。何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 対象となるレポート

2022 年 4 月から 2024 年 3 月に報告されたインシデントレポート

2. 研究課題名

医療従事者が認識する転倒転落の背景について-テキストマイニングを用いたインシデントレポート分析-

3. 本研究の意義・目的

本研究によって得られた知見は、効果的な転倒転落予防策を検討するための一助となる可能性がある。また、本研究の結果は、学術大会や論文執筆で公開される可能性がある。

4. 調査方法

調査期間は 2024 年 11 月から令和 2025 年 4 月 30 日とします。方法は、記述統計で、報告者職種、報告者の職種経験年数、患者の年齢、診療科、インシデントレベルを示し、転倒転落の背景に関する自由記述を KH Coder を用いてテキスト分析を行う。KH Coder による分析は、データの整理、データを用いた数種類の分析の順に行われる。データの整理については、エクセルにデータ表を作成する。また、強制抽出語や複合語、使用しない語の設定する。データ分析は、共起ネットワーク図の作成と頻出語の単純集計を行う。

5. 倫理的配慮

①倫理委員会による審査、②研究参加者にはヘルシンキ宣言に基づき、匿名性の保証、対象者に不利益を生じさせないこと、③ 個人情報の厳密な管理を行なう。また、筆頭研究者は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針講習」受講している。個人情報の保護と資料の保存と破棄については、検査結果はこの研究及び治験以外の目的で使用するのではなく、その結果についても個人が特定できるような情報公開は一切行わない。データの管理には連結可能匿名化を行うことで個人情報の保護に努める。データは研究期間終了後、直ちに廃棄する。

(問い合わせ)

松阪市民病院 リハビリテーション室

〒515-8544

三重県松阪市殿町 1550 番地

TEL : 0598-23-1515

研究責任者 今岡泰憲